小谷小だより

第　７　号
令和５年
10月13日

E-mail:kodani-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

後期がスタートしました

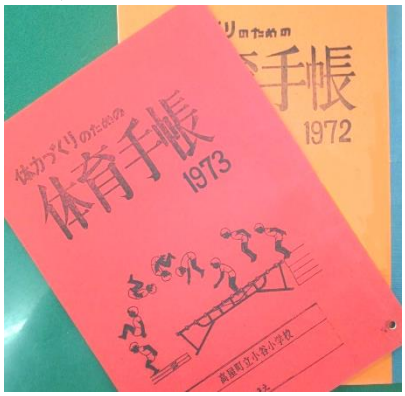
10月12日木曜日，今年度の後期がスタートしました。後期は，学習発表会や親子マラソン大会等，日ごろの学びを発表する機会の多い学期となります。また，次の学年への準備の期間でもあります。そこで，始業式に次のような話をしました。

> 後期も目標を決め，そのために何をどうしていくのかを具体的に決め，目標達成に向けて頑張ってください。
> 花を育てる時，一生懸命に世話をしますが，どんなに世話をしても，咲くのは花自身です。みなさんも，これまで，家族や先生方のお世話になりながら大きく成長しました。でも，花のように咲くのはみなさん，一人一人の力が大切なのです。
> 特に，心の成長には，自分を育てようとする力が必要です。自分以外には，自分の心はわからないのです。
> なまけたり，悪いことをしたりして，たとえ他人にはわからなくても，自分だけはごまかすことはできません。いつも自分を見つめて，どう行動したらよいのかを考えていきましょう。
> 後期が始まりました。自分が決めた目標のような自分になるために，何ができるか，何をしなければいけないか，しっかり考えてください。そして，実行していきましょう。
> 繰り返し，繰り返し行っていけば，当たり前になります。当たり前になったときは，本当に自分に力が付いたことになります。
> 目標が達成できないこともあるかもしれません。でも，そのためにしっかりと考え，行動した人には自分を動かす力がついています。
> 自分を育てるのは自分です。自分を動かすのも自分です。

児童がなりたい自分をめざして，自分つくりの学校生活を送っていけるよう，今後もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

朝のランニングを再開しました

本校は明治６年（1873年）７月１日，校名を洗耳舎として開校し，様々な時代の流れとともに改称し変化を遂げつつ，昭和49年４月に東広島市誕生とともに，東広島市立小谷小学校となり，今年，創立150周年の記念すべき節目の年を迎えました。



その間，健康教育に力を入れ，様々な取組を行ってきました。健康教育に力を入れ始めたのは昭和33年（1958年），児童の健康の向上について課題があり，そこから健康相談や「健康の目標カード」により児童の健康への意識向上を図ってきたそうです。また，給食指導にも力を入れ，栄養指導や献立表の配布などを行っていたそうです。

また，現在でも行っている，朝のランニングについては，学校に現存する体育手帳によると，昭和47年（1972年）には始まっていたようで（これ以前から始まっていたのかもしれません。知っている方がおられましたら，学校へお知らせください！），このころは，大阪までの300ｋｍをゴールとして色塗りができるようになっていました。今年度は，猛暑が続いていたため，朝ランニングの再開が遅くなってしまいましたが，10月から取組を再スタートしています。

中には，走るのが苦手という児童や走ることを好まない児童もいると思いますが，この取組には，現在の自分の体力向上や今後大人になっていく身体への基礎作り，また，自分が立てた目標に向かって自分を高めていく等，さまざまな意味が込められています。その日の体調もありますので無理をすることはありませんが，全ての児童に自分自身のために頑張ってもらえればと考えています。

ご家庭でも，自分の経験や運動してよかったこと，頑張ってよかったことなどを話していただき，児童のさらなる意欲向上につなげていただければと思います。

校長　山田　　隆